京城新報

明治四十四年…… 定價 本紙一ケ月金三十錢……（日刊）……廣告料……
發行兼編輯人 高木久[illegible]郎
印刷人 松久[illegible]一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
仁川支局
東京市京橋區南佐柄木町七番地 東京支局

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

●東京たより

◎新聞各省聯合研究會發起の政黨組織成立せり、立憲治下には政黨なかるべからず、憲友會の組織清國の爲洵に慶す可し、而かも此政黨あるが爲めに立憲政治に幾多の弊害を伴ふことと思はざらんには國家に崩すなきを保すべからず、憲友會の綱領一として可ならざるなきが如きも、清國現下の國狀より觀て果して適切なりと云ふを得べきや、吾人は憲友會が政黨としての本領を發揮し弊害の之に伴ふ無らん事を清國の爲に切望仕候。

◎日本は日露戰役に依りて極東の最强國となれるも、又一方に於ては之がため多大の國富を奪はれ、終に致命的負擔に苦むに至れりとは近著倫敦エコノミストの新論なり、內外債總額を計上せる數字の明示する處如何ともすべからず、而して外紙をして斯の如き所論あるに至らしめし責任は抑も之を那邊に歸すべきぞ乎、我が公債政策が其敗績續たる爲め、世界の財界に於ける我國家的信用を全く失墜し終れるは、國民の憂慮すべきと共に、又大に警畜して國富增進の方法を講じ、借金國の範圍より逸出すべき事を遂次顧盼の間にも忘るべからず、これ吾人の國民に切望已まざるものに候。

◎桂內閣の後に現はるべきもの、桂山本、西園寺の聯立內閣なる可しとの說あるに對し、更に寺內、山本、西園寺の聯立內閣說を唱導するものあり、而かも吾人に對して其何れを信ずるかと問ふ者あらば、吾人は山本伯及び西園寺侯が或る事情上寺內伯と事を共にすることなきを信ずるが故に、桂公山本伯を起たしむ可しとの說は之を異に近しとなすも、寺內伯の出馬は之を疑はざる能はず、伯は專任朝鮮總督たるが伯のために最上策と存候。

◎國民黨は千葉縣の補缺選擧に大麻應援をいたし居候、其意洵に壯なりとすべし、政友會の候補者が如何に黃金によりて築き上げたる信望の上に立つも民黨の正々堂々の陣に對しては、聊か辟易せさる能はさる可し、人望の表に出づる奇兵を行らんには知らず、然らさる限りは該撰擧の結果は略知し得らる可く候（蘇生）

釜山より（七日發）

◎塵積んで山となり輸出入一個に金五錢を積み立てたる我穀物市場にては組合員一ケ年間の醵金五万五千圓となれり十四五日頃それ〲分配拂ひ戾しをなす大口は一萬一千圓にて五島合名會社、其次井谷儀三郎、大池忠助、迫間保太郎、岡野政次郎の人々にて少きも尙能く三千圓餘に候。

◎民團債金百二十萬圓借替の件を主とし本年度に豫算變更、學校費等の民會を本日民團樓上に開き討議に及び候。

◎豪雨四五日前に降りて其後雨上りにて滅切暑氣加りしと思ふ間もなく昨今北風吹き續き冷氣格別にて今日頃は袷を用ゆる者も候。

●肺結核の豫防（九）

發化病院 河野作藏

△肺結核の豫防

（二）學齡期の注意兒童の精神上及身体上少なからぬ影響を及すことは多言を要せず又傳染機會も多くなつた譯である故に教室の建築換氣採光保溫机椅子の如きに注意を要すべきは勿論なるが如斯學校衛生は假て家庭に於ての注意は如何と云ふに生徒の疾病に罹り其疾病の充分恢復せさるに昇校を急ぐと云ふ事實は一般に多い樣である例之は痲疹の如き傳染病の治療後は殊更に注意せねばならぬ是れは病毒の散亂と云ふのみでなく兒童將來の健康狀態に影響を及すことで慈愛なる兩親は兒童の爲め顧慮すべきことである

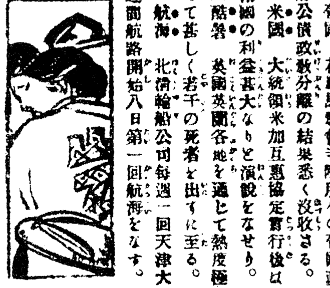
（三）壯年期の注意此期に於ける肺結核は一般に經過甚だ急速なるものである其原因は春情發動によりて身体は一大變化を來す爲めと又結婚の此に影響する場合が多いのである結婚は人の思想感情上に大變化をなすのみならず身体上にも偉大なる影響をなすものである從て素因を高め又は潛伏結核の發芽を促すものである殊に腺病性体質の婦人の懷妊して分娩後は甚だ懸念すべきことである一家の主婦として家事を裁決所理するが如き家政的智識に乏しく分娩に引いて小兒の哺育と云ふ大役が起り衣食住に關する衛生的智識に疎く結果精神上身体上生活狀態に其害を得ざることゝなり肺結核の素因となるのである男子も同じく事業と共に自己の地位と家族の生計と云ふ責任を生じ精身共に疲勞し其素因を高め肺結核に罹り易きことになる不幸にして罹らば其經過甚だ急速に增惡するものである故に此期には大に注意すべきことである此期を過ぎ三十四五才になると比較的經慢なるもの多く豫後も從て佳良なるは日常實驗することである

外事一束

▲露國 大公女タチアナペトラウナは九月塞耳維皇太子と婚約を結ばる筈。
▲派艦 西班牙は摩洛哥國に二隻の軍艦を派遣せんとし巴新聞之を攻擊す。
▲歡迎 露都聖彼得堡に於ては米國艦隊歡迎の爲一大祝典擧行の準備中也。
▲減稅 蘇士運河會社は船舶通過噸稅率を約五十參低減すべく決定せり。
▲東淸 鐵道副總裁ウェンチェル氏長春にて田中滿鐵理事會見哈府に歸る。
▲長春 露亞銀行支店營業方針を革め露淸人に止めず歐米人に向て發展す。
▲準備 英國皇帝戴冠式盛典に付倫敦市街は無數の桟敷建築大に混雜極む。
▲行列 右英國戴冠盛典當日大行列擧行各國皇族外國使臣等も參加の事に決す。
▲叛亂 土耳古アルバニア種族中有力の者革命軍を起し假政府を樹立して。
▲土國 に叛し土耳古守備隊を攻擊す同種族は通路無き山地を占領し居り。
▲葡國 在羅馬教會寺院所有の葡國政府公債政教分離の結果悉く沒收さる。
▲米國 大統領米加互惠協定實行後は兩國の利益甚大なりと演說をなせり。
▲酷暑 英國英蘭各地を通じて熱度極めて甚しく若干の死者を出すに至る。
▲航海 北淸輪船公司每週一回天津大連間航路開始八日第一回航海をなす。

召使れ初

第七十三回 馬法師



お察如何なる秘術や得たる、捻ち上げられたる佐十郎の腕は、殆ど麻痺れたる如くなりて、手にせる太刀をばたりと落しぬ、お察は急ぎ縁の下より

「正木樣、御慮外申し上げて濟みませぬ、まだ御立腹鎮まりませぬか、まだ御免しござりませぬか、まだ〱御納得ござりませぬか」と疊みかけて云ふ

佐十郎は苦痛に堪ね兼ねたる如く聲かけ

「も早や何事も申し上げぬ、全く拙者不調法、平に御容赦あらせられ」

「御立腹ござりませぬ稀」

「立腹もない、無念もない、お察どのの前に平伏、只今までの不禮を詫びるに御免しあらせられ」

「さらば此まゝお刀をお納めなされませ」

云ひながら腕取りたる手を放ちぬ、佐十郎は蛇に見込まれたる蛙の如く、萎縮せりき、猫の前に放たれたる鼠の如く小さうなりき、太刀取り上げて、慌てゝ鞘へ納めたるまゝ、大地にべたりと手を支きぬ

「まことに面目次第もござらぬ、母上總兵衛どのへお詫言頼み存ずる」

お力も總兵衛も思ひがけぬお察の力量のほどを見て、心に舌を卷きたりき、花の如く美しき姿して、細き腕に大敵を取り擢ぎたる伎倆を見、この人を郤御手にするお道の鍛錬稽古あるべきを賞悦したりき

「お詫言は私より致さねばなりませぬ、御恩あるあなたに對し、重ね〲の不禮、御慶にも御免し下さりませ」

「うれにては痛み入る、母上お詞添へを願ひまする」

佐十郎は大地に兩手を支きながらいふ、されどうの無念の機はあり〱と眉の間に見ゑて、まだ消ね遣らぬ殺伐の氣、物凄く目の中に閃き渡る

「佐十郎此方これで思ひ知つたな」

お力は我子の不甲斐なき樣を見て、耻しくはあり、口惜しくはありて、詞の端はびり〱慄ふ

「什麼とも面目次第でござりませぬ、總兵衛どのもさぞお笑ひでござらうの」

總兵衛は何といふべき詞もなく頭を掻きつ

「あなたお怪我でござりませぬかな」

「私只お痛しう存じまするで」

總兵衛「此方何故死なぬ、日頃東軍流奧儀を極め、他人に敗を取る身分ではない、時に遭はねば鳳凰も雀燕に玩ばれて日蔭の中に老ひ朽ちるなぞと、廣言吐いたを恥しいとは思はぬか、お察どのに切りまくられ、見苦しい敗を取る程どの器量を持て、出世奉公の望み起すなど、自体分に過ぎた事ぢや、これ全く弓矢八幡御加護、お察どのお手を借らせてこなた高慢を挫かせられたぢやよ、耻を知れ、今まで舌の爛れるほど云ひ聞けたやう、ちとは武士らしう耻辱を知れ」

「何ぞ仰せござりましても、返す詞ござりませぬ」と佐十郎は縮み上りて「これに懲りぬ事ござりませぬこれに懲りて一生懸命修業、天下に名を知られたうへでなくば、再びお目にかゝりませぬ、總兵衛どの御厄介にもなりませぬ、私これにて……」と思ひ切りたる如に「當座お暇を願ふでござります」

「少しは身にお滲みたと見ゆる、万事はそなたの任ぜぢや」とお力は強く云ひ切り「是と申すもお察どのの篤、決して仇に思やるな」



東京電報（九日發）

▲兩陛下御滿足　遣英宮殿下七日英京に御着遊ばされ英國皇室の盛大なる歡迎を受けさせらるゝ旨の公電に接したるを以て渡邊宮内大臣は參内奏上せしに兩陛下には御滿足に思召されたり

▲栃木縣の火事　栃木縣那須野原郷の民家より失火五十戸燒失したり

▲露領海と漁民の打擊　露國政府は今回領海を十二哩と決議せるを以て爲め我漁業者は致命傷を受くるものとして露國政府に抗議すべく外務省に申請したり

▲立花書記官渡鮮　拓殖局書記官立花氏も柴田總裁に隨ひ朝鮮に出張を命ぜられたり

▲米水兵暴行事件　過般米國軍艦水兵が横濱海軍病院に於て其の同僚を殺害せる事件は端なくも日米兩國間に紛爭を生じ今尚解決に至らざるが近く圓滿なる落着を見るべし

▲南洋航路補助　我政府は南洋航路補助の必要を認め廣東に錨る線に補助すべく更に新嘉坡を中心とし南洋方面の航路補助の意向を有し居れり

雜報

●關税改正と米穀移出

來る七月より實施さるべき關税の改正率は外國米等穀類の輸入に對し從來よりも税率增額し米籾は百斤に對し六十四錢なりしを一圓に大麥は四十五錢を六十五錢に小麥は四十錢を七十錢に大豆は四十三錢を七十錢に何れも增加されたるを以て我朝鮮より內地へ移出する米穀等も共に此增加率を課せらるゝ次第なれば當業者は實施期に先ち目下盛に米の移出を試み居るため米其他の騰貴と同時に金融界にも多少の影響を及ぼしつゝありと

●生存競爭の現實

既報京城府茶話會の一問題京城府税務係の調査によれば最近一個年間に於ける朝鮮人戸數は著しく減少し尚ほ倍々減退の傾向あり今之を左表により示さんに

區分	四三年	四四年	增△減
東部	二、九二三	二、八七七	△三六
西部	七、七〇七	七、三六七	△三四〇
南部	五、六五九	四、六一三	△一、〇四六
北部	三、九八一	三、八六一	△一三〇
中部	四、七六八	四、七〇四	△六四
城外	一八、七三三	一八、九二九	一九六
計	四三、七五〇	四一、七二二	二、〇二七

以上の如く僅々一個年間に於て二千餘戸の減少を呈せり蓋し朝鮮人の戸口割合は一戸平均五人三歩なれば人口に於ては一萬七百餘人を失へる譯なり右減少の主なる原因は家屋の朽頽になるもの多かるべけれども其多くは內地人若くは外國人に所有土地家屋を賣却し去るものなるが如し現に減少は南部最も多く中部之に亞ぎ[illegible]順に減少の多寡を示めす則ち生存競爭の敗者たる現象を招ける所以[illegible]京城府尹の關係に係る全國の有志者八十餘名に[illegible]して其意見を徴したる[illegible]悲觀者は唯だ徒ら[illegible]の成行果して如何[illegible]へざるもの\如かり[illegible]

●總督邸午餐會

寺內總督及同夫人には十日正午龍山官邸に李王同妃兩殿下を始め朝鮮貴族三十四名並に大久保軍司令官、各部長官各局長同夫人四十三名を招待し盛んなる午餐會を催す筈なるが當日列席すべき氏名を記せば左の如し

△內地人側▽　大久保軍司令官、倉富長官、石塚長官同夫人、小宮次官同夫人、荒井長官、渡邊法院長同夫人、國分檢事長同夫人、藤田院長、本田塢長、池田通信局長官、俵顧總裁、明石警務總長、宇佐美長官、菊池局長同夫人、小城技師同夫人、小倉主計監同夫人、國分局長、小松局長同夫人、鈴原局長同夫人、小原局長同夫人、大西軍醫監同夫人、柴少將、外波少將同夫人、市川大佐、大庭府尹、中山大佐同夫人、津野中佐、十時副官、鶴水季子、兒玉秘書官同夫人、藤田大尉、藤波通譯官

△鮮人側▽　李王殿下、李王妃殿下、李埈公殿下、尹德榮侯同夫人、朴泳孝侯、李址鎔伯、李完用伯同夫人、朴齊純子、高永喜子、趙重應子同母堂、李容植子、尹德榮子同夫人、趙氏照子同夫人、閔泳韶子、閔丙奭子同夫人、李根澤子、李秉武子、閔泳徽子、李夏榮子同夫人、李根湘男、閔泳綺男、李址鎔同夫人、趙義淵男、李鍾雲、命忠淵、張成源、高鳳雲以上

因に當日は漢城美術院より數名の書家出席の上諸氏の求に應じて揮染すべく其他二三の餘興ある筈なれば定めし盛會なるべし

●今期の鯛漁業

▲西海岸の漁業　鯛は朝鮮西海岸に於ける大漁業たり朝鮮人は之をトーミと呼び而かも餘り賞味せざるが如し而して其需用は內地人なるが故に其漁獲亦多く內地人に屬せり漁場は全羅道の沖合及全南群山群島より鬼食島飛鷹島の沖合及忠南の竹島煙島鹿島孤島に亘たり南北約三十浬東西約二十浬に及ぶ就中著名なるは竹島煙島の漁場たり

▲漁期及漁具　鯛漁期は毎年八十八夜より六月中旬頃までなり即ち八十八夜前後より産卵の爲め水温を逐ふて此海中に群來し六月中旬を以て他に移去するを此時期に於て漁獲するなり漁具は一本釣延繩鮟鱇網を用ゆ始めは內地人のみ之に從事せしも近來朝鮮人の習ふて從漁するもの亦頗る多きに到れり

▲本期の漁獲高　今期に於て該漁場に來集せる漁船數は內地人二百艘從漁者千百五十人朝鮮人二百七十艘從漁者九百四十人を算せり而して之に依りて漁獲し得べき總高を概算すれば十萬六千五百圓にして此內我が內地人の漁獲高は五萬五千圓を占む漁民は多く鹿兒島廣島山口愛媛長崎熊本福岡大分岡山等の諸縣に屬す

▲漁獲物の處理　日鮮人の買出船大小七十餘隻錨泊し又は竹島に碇泊して漁舟の歸來を待つものあり或は漁場に航走して直ちに漁船に臨むものあり斯くて購ひたる捕魚を活魚か生魚若くは生鮮の儘或は鹽藏氷藏して目的地に搬送す又一本釣漁船には友船數隻の捕魚を集め活かして仁川に到るものあり而して漁船と買出船と相混じて星散羅列する光景は實に當時の壯觀たり

▲根據地の竹島　竹島は一時の假根據地にして總べての漁船皆茲に集まる十數の朝鮮人住するのみなるが毎年漁期に到れば若干の內地人雜貨商飲食店等極めて簡單なる小屋掛の下に營業を開始し居れり而して今期此處に小屋掛營業を爲せる內地人は九月にして三名の酌婦さへあり尚ほ旦夕此地に集來する漁船は百隻乃至三百隻を算し更に處理運搬船十餘隻の碇泊せるものあり平素寂寞たる一孤島は遽かに化して殷盛を極む。

●定例長官會議

九日午前九時より總督府會議室に於て定例長官會議を開き寺內總督、石塚、倉富、荒井、宇佐美、小松、明石、池田、俵の各長官及小城、菊池の兩長官代理出席し十時散會したり

●寺內總督の下仁

寺內總督十一日の仁川築港起工式に臨席の爲め同日午前八時四十分南大門發同地に向ふべしと

●六十九聯隊檢閲

龍山步兵第六十五聯隊にては十一日より二日間第二期檢閲を施行すべし

●軍の歴史編纂

朝鮮駐劄軍司令部にては豫て軍司令部設置の沿革及既往二十餘年間に於ける軍の行動等調査中なるが近く其の完成を見べき筈にて其內容は去三十八年軍司令部設置後に於ける治績暴徒討伐の状況及軍隊の配當等にして同設置以前の我軍の行動一切を包含するものなりと

●碧蹄館の遠乘

軍司令部榮參謀長以下本中佐竹本副官等の一行二十餘名は十一日午前七時獨立門內集合碧蹄館に遠乘を試み同館に於て中村工兵大尉の文祿役の講演ある筈なり

●京城出入品

五月中の京城稅關出張所に於ける出入重要品目左の如し

▲輸出及移出品

品名	價額	品名	價額
乾魚鹹魚	三五	牛皮	一四、五三〇
其他諸品	一七、五九一		
合計	三二、一四六		

▲輸入及移入品

品名	價額	品名	價額
小麥粉	一一、三六五	食鹽	二一
果實類	九、五八〇	鹹魚	三八一
罐壜詰食物	四、九六六	砂糖	一五、九六三
清酒	一七、六三六	麥酒	一六、〇五
酒類	八〇三	蠟燭	五、三二
綿絲打綿	三、二〇七	綿織糸	一九、七九二
生金巾	五六、二五六	晒金巾	一四、五二四
天竺布	一、一八九	麻布	一九、二六〇
綿縮及イタリヤ	一、八六六	絹布	九、五一六
日本木綿	三一、三五三	毛織物	一九、四四三
交織布	七、九一三	靴履物	八、三〇一
紙	二四、七二九	書籍雜誌	七、七五二
文具	六、九八二	鐵線	一、九五二
鐵管	四一八	鐵釘	三六
鍋釜	一、〇四二	機械類	三六、一九四
木材	九、三五三	陶磁器	二、八一
木板	五、五八	叺繩	四、一七九
家具	四、二二四	燐寸	五、一〇三
木製品	二、三九四	洋傘	一〇、五九四
小包郵便	[illegible]	諸品	一三三、八八九
合計	三四、六六一		七三七、二三三

●各道授産計劃（十二）

……全羅北道……

▲同道產業大勢　同道は面積六百十方里人口九十六萬四千餘を有す、氣候溫和にして土地肥沃到る處農桑に適す東部は農林の經營に適し西部は稻作を主とす其內群山萬頃扶安興德義長の一府四郡は西海に瀕し魚鹽の利あり故に是業、向つて改良を計り且共同經營の便益なるを認め其事業を撰定せり

▲事業の種別　而して其事業は一、授產講習所の設置二、農事巡回教師の設置三、水利事業の補助四、漁法の改良方法等を撰定し居れり

▲授產講習所　南原古阜錦山臨陂の四箇所に設け其講習を短期長期に別ち短期講習は二三十一十二の四ヶ月內七日間開設し米麥種籾栽培製肥收穫乾燥調製の方法を教へ尚は古阜臨陂に於ては織筵叺製造方法を南原錦山に於ては植林樹苗養成及植樹法を講習せしむ定員は一回十五名宛一年を通じて百八十名を收容し修了後は種籾一升宛を分與し之より得たる籾は精撰し普通本換の方法により普く分配を爲さしむ長期は七ケ月の講習とし桑樹栽培春秋蠶飼育收繭撰繭鑑定蠶種製造法及貯繭蠶病檢查製絲乾繭蠶具製造を實習す修了後は蠶桑を分與し土地を有せざるものには國有未墾地貸下の手續を爲し實務に從事せしむ

▲農事巡回教師　以上講習所に於て養成したる修了生をして其効果を擧げしむる頗る難事たり故に巡回教師九名を常置し時々其區域內を巡回して普通農事蠶桑養蠶林業園藝の實地指導及講話を行はしむ

▲水利事業補助　同道の水田總反別は十三萬二千九百五十七町步あり然るに現在の堤堰は僅かに四百八十九箇處にして一萬二百三十三町步を灌漑し得るに過ぎず隨て年々旱害を被らざる事なきを以て水利の便を講ずるは特に急務なりと認め一ケ年三十ケ所の豫定を以て一箇所百圓以內の補助を給す而して道長官指揮の下に府尹郡守をして監督せしむ

▲漁法改良方法　前記瀕海の一府四郡は漁民尠からざるも漁撈頗る幼稚なる爲め漁獲少く頗る困難の狀に在り故に之が改良を計るに爲め現に內地に於て良具と認めらるゝものを毎年百人に百組を給與し且つ技術員をして實地教習す

▲授產業經費　同道授產事業の所要經費總額は二萬八千三百四圓にして之を內譯すれば左の如し

授產講習所費	二四、八九五、〇〇〇
水利事業補助	一、五〇〇、〇〇〇
漁法改良費	三三五、〇〇〇
農事巡回教師費	一、五七四、〇〇〇

●發會式準備

八日午後七時より豫記の如く創立者は憲兵司令部に集會し京城在郷軍人會支部並分會發會式準備に付き第二回の協議會を開き大體の方針を決定したる後事務分擔委員といふを選定し委細の次第は各部委員の決議に一任すべき事となり尚各部は隨時委員會を開き更に來十五日委員大會を催すべき事とし散會せり

●軍人發會式（擧行期日）

京城在郷軍人會支部並分會發會式に關する準備協議會は別項所報の如くなるが當日擧式其他の次第を聞くに大會は來十八日午後一時半より景福宮に於て開く會員は其調查千餘名に上り將校百餘名を算するに到れども或は續々屆出あれば恐らく當日迄に千二百名位に達するなるべし會員には悉く案內狀を差出すべき筈にて實際の出席數は約六百名あるべく又來賓三百名あれば都合千名の出席を見るならんが擧式後餘興として擊劍、柔道、劍舞、琵琶等の催しを爲すべく是等の經費は寄附と百名の將校は各自一圓宛出金し支辨する事に決せり

▲人さまざま▼（四十九）

井上孝哉君

君は岐阜縣の人だ、三十年の帝大出身である、永い間警部長を勤め藩閥の爪牙となつて鞠躬如たりし其功を認められ遂に佐賀縣知事に榮轉された、今も尚は在官のまゝ東拓理事となつて居るのだ、宇佐川吉原正副總裁の下に林岩佐等の各理事と共に椅子を列べて居るが彼の警察的の謹嚴なる風彩が何となく重も／＼しい、君は不眞面目の東拓會計に付つては餘りに正直過ぎるとの世評があるが或は左うかも知れぬ、イエスノーの決斷は兎角慢々であるが愈々腹を据ゑると挺子でも動かないそうである、斯ふいふ側の人には素より道樂杯ある可き筈なく、唯だ旅碁を圍むのみだ、然れども敗けると厭な顏をするから氣の毒になる。

●在監囚徒の現狀

五月末日に於ける在監囚徒の總數は既決未決を合して八千七百五十七人にして之れを前月に比すれば三百九十八名を增加したる譯なり而して該總數中內地人は七百四十三人にして八千十四人は朝鮮人なるが尚男女に區別すれば男子四百四十七人女三百十人なり此內在監人の最も多數なるは京城の二千三百六十八人之れに次ぐは大邱の千五十八人平壤の八百六十八人にしてかく在監者增加の傾向あるは主として裁判制度の新設日淺くして刑期の長きものは未だ出獄するに至らざるに更に入獄者續出するためなりといふ

●派遣隊幹部演習了

去る一日より水原附近に於て擧行中なりし臨時派遣隊幹部演習は八日を以て終りたるを以て同日水原に於て終了式を擧行したりと

●金鑛を發見す

忠淸南道公州郡內寧鎭德質の兩山に亙り二萬六千坪余の金鑛を發見したる者あり目下試掘中の由なるが鑛脈良好なるに於ては最新式の機械を据ゑ付けて大規模を以て計營すへしと云ふ

●新關急行列車

新橋下の關間最大急行列車開始さるべく其の內容は午前八時三十分新橋を發車し翌午前十時下關に到着（二十五時半）其反對列車は午後六時三十分下關發翌午後八時三十分新橋着（二十六時間）を以て到着せしむる事と午前八時五十分下關上り列車及午後三時四十分新橋下列車は從前の通り約三十時間運轉これは準急行列車として午後十一時新橋發車、列車は現在の時間に比し米原下の時間を變更する結果中部管理局管內に於ては現在を何等影響を及ばさるも西部管理局管內即ち米原以西下關間に於ける列車の大部分は時間の改正を見るべく多分八月中旬より實施せらるべし

●總督府所屬職員徽章　九日總督府令第六十九號を以て朝鮮總督府及其の所屬官署職員の徽章定められたり

●秋山參事官の登廳　此の程歸任したる秋山參事官は九日より登廳したり

●川島浪速氏入京　滿國の事情に通曉するを以て有名なる川島浪速氏（北京民政府顧問）は八日來京巴城館に投宿

●石川技師入京　鐵道院技師石川石代氏は八日入京京城ホテルへ投宿

私人及人

▲石川石代氏（鐵道院技師）八日入京京城ホテルへ投宿

▲飯田讓甫氏（代議士）八日釜山行

▲富永正義氏（參政課技師）同開城行

▲直塚保氏（醫師）八日釜山行

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客（八日分）　乘車客 六四二　下車客 八二六
乘車賃金 一、一九六、六五

▲南大門驛貨物（八日分）　發送 七〇四噸　到着 五二四噸
貨物賃金 六九五、九九

▲龍山驛乘降客（八日分）　乘車客 一〇八三　下車客 二一三
乘車賃金 二〇四七、七八（八日分）

▲龍山驛貨物　發送 四五噸　到着 二四八噸
貨物賃金 九五、五八

▲仁川港の出入船舶▼

▲香港丸　十日鎭南浦より入港
▲大有丸　同　大阪より入港
▲音羽丸　同　大阪横濱へ向出港

內地巡禮日記（十三）　水浪生

五月十四日、愈退京と決し朝來數箇所へ暇乞ひに出掛けた、ナア旅舍に歸つて一休みして居ると、丁度ソコへ巨智部博士。。。。。が訪ねて見られた、博士は目下越後の採油事業に關係して居られる。ソウして訪ねられた其足で直ちに越後へ向けて出發された。想起す四十年の二月余が故伊藤公を大磯に訪ねた時は巨智部博士が歸りが一ショであつた、其時余は途中で紙入を掏取られた。後で其話を博士にしたら、博士も其前後に於て矢張り掏兒にやられたことがあつたのだソウだ、爾來年を閲すること茲に四年、彼の臨井警視總監・赤坂警察署長の職とは能く掏兒退治の效を奏し、今や市の電車の事業をして乘客に對し御懷中物御用心を叫ぶの要なきに到らしめた、朝鮮よりの東上客が紙入も時計も無事なるを得るのは全く臨井本堂兩者の賜だ、故に余は感謝の意味を以て茲に特筆す。

東京は廣い、其種類は國體國方だ、併し廣い樣で狹いのが東京であるのだ。昔時は親の敵が江戶へ入つたら中々尋ね出せないものとしてあつた、今は然らず、而して其然らざる譯は余が今回の短り日滯京中に多くの朝鮮關係者に街頭停車場及び電車中で出逢つた事だ。今其名を擧ぐれば內山守太郎、小林重、三輪作次郎、大岡力、武田少將、花田節、村田中將、松井茂、岡本元眞、國分檢事長、山邊書記官等の諸君だ、此夜十一時、余は家族と共に伊勢を指して新橋を出發た、明くれば十五日の午前十時半名古屋に着し、茲にて關西線に乘換へ、窓を開いて見れば京城で知つた岩田正臧君が居つた、ヤア其後ちはと互に久濶を敘し居る中に汽車は進行を始む、龜山驛に着し、參宮線に乘換ゆれば車中夫妻連れにて余と豫視する客あり、名乘つて見れば磯島君、布哇ホノルヽ港の大商人十數年の昔に於て余が知を受けた人だ。午後三時、雨中山田に着す、直ちに導かれて五二館ホテルに投す。畏れ多くも皇居陛下を近日迎へ奉るべき宇治山田市はアーチの建造、街路の清掃、其他に就き雨を犯して忙がはしく、加ふるに行啓拜觀の目的を以て入込みたる巡禮道者の數幾萬、宇治山田の活氣は寧ろ天を衝くの慨ありと見受けた。

▲茶袋▼

東拓の引率に係る朝鮮人百三十名の內地觀察團は去る八日無事歸着した▲處で其一行を引率して步いた某の話を聞くと、イヤハヤ何うも呆れ返へる事ばかりさ、中に四五物の分かる連中が無いではないが、其多くはロ一で見物させて貰つて、嘗々たつたまでよ、一口に言へば田舍漢が淺草觀音を參詣して戻つた樣なものに過ぎぬと▲八日夜開會の京城商業會議所報告會は近來稀に見る位顏が揃つた▲然るに何うした風の吹き廻はしか知れぬが、歳々山口會頭の報告が始まると一人散り二人飛び、何時の間にか散り／＼バラ／＼と消ねて失くなつた▲而ふして其逆中は或る旗亭に集まり、何事か凝議したが遂し其異和は言はぬが花だ、之が爲め色々の問題を付職せんと準備し居りし議べてたチャンと成つた▲京城府とも言はるゝ處が一個の消火器をも備付けて無いので一朝事あつたら周圍の彼のバラック建物で何うするだろうと心配して居る者がある。

△一日一闢▽

鸚鵡能言へども飛鳥を離れず、猩猩能言へども禽獸を離れず（禮記曲禮）

●相場電報（明太町西村支店着）（九日）
[illegible]

●大坂期米電報
[illegible]

●仁川米豆取引所
[illegible]

●歌舞伎座　大好評の新派聯合香岡鐵田一行[illegible]

(可認物便郵種三第) 明治四十四年六月十日 京城新報 (土曜日) 第七百號 (三)

多情多恨

京城藝妓の半生(卅一)
清水席若千代

此の女位不實な目な奴はない人を馬鹿にした如な事斗り云つて居る一寸眞似をして見ると『思召、誠に以て感謝の至りに堪へませんがね未だ未通女なんですから因縁なぞのあらう道理が有りません妾の如なものですから誰れも相手にして下さいませんのですもの、アラ貴郎がねエ併し貴郎ぢやお願ひ下げよ、淡泊してると賞めて頂戴』、歌舞伎座が大變宜いつてねぢやアありませんか伴さして頂戴な、夫れは左樣だね貴郎や妾ね昨晩馬鹿な夢を見ましたの、アノね天丼を五杯食べて總督府醫院へ入院した處だつてね、天丼を食べる時は美味かつたけど入院した時は苦しかつてよ」と斯うである、此の妓生れは廣島市東白崎町で本名を天野はると云ふ十三の年の正月廣中券から奴と云つて雛妓で出た十四の秋穀物問屋の河崎繁治さんに御贔負を受けて岩國の錦帶橋、安藝の宮島見物など洒落たものだつたが花百年の春ならず餘儀ない事情に遮られて十五歳の年の一月三日當地大和町三丁目の梅の家から春子と名乘つて出たのであつた、彼れが十六の三月迄は格別の話もなく無事に過して四月の三日壽町二丁目に住んで居た難波富次郎と云ふ離しい人が出來、間もなく龍山の騎砲兵將校の某と云ふ客が付いたのであつたが之れは直きに內地に歸つた、若千代の春子は難波と戀しい人として取扱ふから難波の方は益々逆上せると云ふ始末、其の内に難波は事情あつて當地を引き上げねばならぬ事になつたが春子は別れともない獨しともないの心が嵩じて情死を迫つたが難波は三十越した男の事とて其の無分別に同意せず却つて叱り付けて其心を翻へさせ面白からぬ結果を齎して當地を引き上げたのは昨四十三年の六月、若千代程のれ嬌華も此の時丈けは悄れたものである、春子は同じ年の八月年期が滿けたので約束通りに夫婦にならうと一旦歸國して難波の故郷伊勢は松坂へ乘り込んで見ると獨身者である筈の難波には立派な妻がある、一時に赫と取り詰めた彼女は涙も出ない世の味氣なさ人の心の頼みなさに死んで怨を晴らさうと思ひ詰めたが聞に入る方に樣々に慰められ思ひ止まつた彼れは神宮に參拜を遂げて生れ故郷へ歸ると直ぐに再び京城に來たのは同年九月の上旬、清水席から今の名で盛んに憎まれ口をたゝいて居るのだ、彼れがホントに白狀すれば未だ面白い事もあるのだらうが前述の通りの橫着物、此所には記者の知つてる丈けを記したのみである、年は十九、次は

清華亭の一駒

●仁川築港祝賀彙報

▲會場設備 日本公園を以て會式場と爲すは已報の通りなるが今回大工事を施し鳥居より社殿に至る間の通路を取擴げ石垣を築き會場入口前には築山をなし會場式地を演張し天幕を引廻し舞臺二箇處を設けたり尚水道局員の寄贈せる噴水池あり社殿裏手の小高き處には朝鮮料理及日本料理等の模擬店を以て充さるべく大鳥居前には大緑門を建て其の兩側には日本醬油會社の積樽等ありて公園地は速に面目を新にせり尚當日は郵便局より特に出張し紀念スタンプを押捺する筈なり

▲餘興の色々 當日會場に於ては樂隊劍舞藝妓手踊等あり尚宮町側の花地車には數百の若手連が揃の衣裝にて市中を練廻り之に續て朝鮮妓生及樂隊支那人側の音樂隊舞踊其他各個人の假裝行列等にて二日間に亘り晝夜練れに市內を練り廻る筈尚公園地及本町一丁目の舞臺にては寸斷なく舞踊其他の演奏あり又煙花も晝夜打上ぐる筈

▲市中は不夜城 公園地より宮町一二三丁目本町一丁目より四丁目までは道路の兩側一間半毎に祝起工式の大提灯を點し大日本麥酒會社にては二所のイルミネーションを作り宅支店前には本町四丁目に麥樽にて大門を作り大角燈には多數の電燈を點し又仕掛煙花等ありて恰も當夜は不夜城の觀あらん

●銀行券僞造 福岡縣人松本藤吉なる者は慶尚南道晋州の某印刷所にて銀行預金證書用紙百枚を印刷せしめて之れに收入印紙を貼り額面五百圓二枚二千五百圓三百圓一枚と夥しく手に記入し去月十三日慶尚南道金海郡賀洛面に於て土地賣買代として五百圓券一枚を鮮人某に交付し又同十六日同郡活川面に於て五百圓券一枚を同樣に使用せんとして賣主が收納することを肯せざりしより目的を遂せざりし由なるが斯る手段を弄して鮮人を詐欺せんと所々を徘徊する內今回釜山憲兵隊の手に逮捕せられたり尚同人は去る三月全羅北道金堤郡金堀面に於て鮮人と土地の賣買契約をなし代價千八百六十四圓の內現金三百圓を渡し其領收書が諺文の際賣主が日文を解せざるを奇貨として代金全部の領收書に作りて之れを調印せしめたりと云ふ

●母への恨を子に報ふ 京畿道交河郡錦山里の林谷山中に於て斬殺事件あり被害者は交河郡新五里面錦山里曾錫明(三五)にして躁で神經過敏の性質の男なるが附近の曾德用(十六)の實母より屢々貴樣は人間にあらずなど惡口を受け怨恨を懷き何時か怨を晴さんと本年二月中旬放火せんとせしも直ちに消火し意の如く行かざりしが去月三十日曾德用と共に錦山里より二丁余の西方なる能谷の山中に赴き刈に行き何人も居らざるを幸ひ曾德用が何氣なく草刈りに從事中を後より擔軍用の棒を以て頭部を毆打し其卒倒したるを見るや今度は草刈鎌を以て斬付け即死せしめたるが間もなく警察に捕はれ取調の上檢事局に送られ野田檢事の手にて取調中なるが兇器は何れも血に塗れて見るに忍びざる程なりと

●泣いた見た笑つた子 既報日の出町百二十八番戶小山きさ方に於ける金品一百八十餘圓の盜難に付ては南部署より野岸兩刑事直ちに臨檢し賍品及犯人搜査に從事せしが重なる衣類數十點は市內の質屋某々方に入質しありたるを發見せしにぞ被害者小山きさは嬉し涙に咽び警察の活動を感謝し居るが各質屋は顏を顰めて始末書を提出し居れり

●竊盜美人の身許 既報竊盜美人旭町一丁目料理店一二三亭酌婦山口縣下關市細大寺町安吉三女安藤きく(二八)が實務宗酌婦赤城さもの繻珍丸帶を竊取したる事件は前回に於て被告人身元不明の爲め留置せられしが照會取調の結果に依れば彼は下ノ關市檀ノ浦下宿及飲食店を營む漁夫岩崎佐吉の三女きくにして本年二月無斷家出したる者にして宿元に於ては所在搜査中にて本人は平素の行動放縱にして節制なく屢々下宿人の金品を竊取し或は自ら淫を賣し居たる者にて小學校卒業後斯く墮落せし者なる事判明せしが同人は住所氏名を僞りたること新聞に書かれては國元へも知れ親兄弟の恥になるからと申立てたるが眞頭判事より懲役一ケ月の宣告受くるや法廷に於てワッと泣き出したり

女振り (二十三)
杉原花子

花子さんの御職業は產婆で當地南山町三丁目に住居である、本年正に四十五、當地產婆界の最年長者である、錦帶橋で有名な山口縣は岩國で錦川の水に產湯を使はれたのだ、頑固と思はれる程眞面目の方である、花子さんと云ふと頗ぶる美しい如であるが其實見掛けは丸宜しくない、世の中の事何にが僥倖になるか判らないもので、其れ美しくなくし、堅過ぎる處が幸福となつて詰らぬ艶聞なぞ立てられた事もなく又相當の蓄財も出來日家の六七軒も持つて居らるゝ軍司令部經理室の雇員何某君が內縁の夫として居られる、見掛けに依らずナカ〳〵御親切の方であると患家の評判である。

●博徒の多い京城 愛媛縣人當時明治町三丁目仲介業大北新(四八)岡山縣人當時龍山老松町土木業大田敬三郞(四七)と共に八日午後一時頃明治町村寬作方に於て賭博を爲し南部署に檢擧され各罰金十圓に處せらる

●たりようの內職 當地南部茶洞居住元基永なるものの方に年齢二十三四の一美人の爲事なく贅澤の暮しをなし居れるは仔細ぞあらんと探り見しに彼れは福井市九十九橋の生れにて永井りよう(二七)と云ひ三十八年の十二月滿洲大連に渡り某隊酒保の雇人となりし淸國人石華盛の妾となり居る四十年二月中當時同地にて吳服雜貨商を營む永谷富吉なるものと情を通じ華盛より百八十餘圓を引き出し富吉と共に朝鮮中北龍岩浦に逃げ來り相變らず雜貨商を營み居る內華盛も又其の跡を追ふて朝鮮に來りしにヤツサモクサの末現金五十圓を渡して漸く手を切りしが其所から面白からざるにぞ永谷と共に京城に來り長谷川町に氷店を出したるも其の年の七月中旬なりしが此れも又思はしからず貯への金も盡きしに不人情なるりようは跡足で砂を蹴つて追ん出て終ひ淸國人丁寶なる者の妾となり西大門外細極里なる鮮人部落に囲はれしが四十二年九月頃不圖出逢ひしは郷里に在る頃私通し居たる煉瓦職人留公なるものに夫を因縁に淸人と手を切らせられ同棲間もなく仁川猫島の某樓に賣飛ばされしに多年暇へし辣腕を揮ひ居る內昨年春或る人に落籍され現住所に囲はれ居るものなるが旦那一人は守つて居られず秘密の小遣錢取りを今では本職の如に爲て居るのなりと

●天理敎會の落成 吉野町一丁目天理敎朝鮮宣敎監理所に於ては敎會場及事務所新築中の處愈々工事落成に付十一日午後一時より落成式を兼ね春告祭を擧行する由にて同日の參列者は京仁龍各地の信者八百餘名に來賓七十餘名の豫定なれば盛會なる可しと

●ヨボ大に憤慨す 南部小公洞百統八戶申用完(二九)は苧洞九十統六戶崔興運(三一)が蝸甫の客引にあらざるやを問ひたるを憤慨して崔を毆打し負傷せしめ目下取調中

●貧民救護 曾て本紙に悲慘なる一家族と題し掲載したる仁川新町河野昇の一家に對し世の同情を得たるが尚昨今に至り妻ふでは危篤に陷り其慘狀目も當られぬより今回仁川民團より金十圓を醵出し一時を救濟し又支那町八田利三郎氏は同情を寄せ金二圓を惠與せられたり

●天臺宗總務來京 天臺宗總本山延曆寺宗務廳總務なる京都東山妙法院門跡住職大僧正闡光韓師には朝鮮開敎視察のため文書課長池田侍田師及び隨譯藤枝知戒師を隨へ一昨七日大郎より來京、浦尾旅館に投宿したり

●執行猶豫 町巴文林堂雇今村與作の橫領事件は懲役四ケ月に處せられ三年間執行猶豫の恩典を與へられたり

●懲役二月 黃金町一番戶久保磯八方の島根縣人上野藤十(三六)が同居人篠原の所有の現金十五圓竊取したる事件は懲役二箇月に處せらる

●竊盜嫌疑 南部水洞九十二統三戶申畢根方の金澤沫(一八)は竊盜嫌疑犯として南部署に引致され目下取調中

●擔夫を撲る 龍山新市街漢江通の一丁目內田理髮店職人吉田金藏は八日午後二時頃南大門驛前より荷物を擔夫金長玉に荷物を運せ中故なく擔夫を毆打し負傷せしめ南部署に引致され取調中

●兩劇場の合同 當地現今劇場の數は三座あるが其中の御成座は今の所出所柄云ふに足らずで本町座及び京城座が役者俳優の劇界は壽、歌舞伎兩座の睨み合で踏らぬ事の競爭に疲れつゝあつた、で其の競爭たる客足を引くべく萬事を改良し俳優の腕達者なのをと云ふのなら結構なことだが左樣ぢやないから來る奴も來る奴も悉く之れはと云ふの日無かつた、夫れも道理である、京城の人口及び商況から云へば兩座一度に興行しても相當の入りはあるべきだが先づ最初は目前の慾から大根を賣るに蓮根の値を以てしたのだ、日を經て漸く腐敗の色あるを見て慌てゝ「大入御禮の爲め均一」にする抔の醜態を繰返さゞるを得ざりしの愚なりしを悟つた壽座及歌舞伎座の管理者たる野口、櫻井の兩人は肝膽を照して兩座を組合とし交代隔月若くは年四回位の興行とすると同時にれ加けのない巧手な俳優を呼ぶてとにし絕對に其の衝突を避けれ客本位に諸事改良する相な、結構な事だ、結構な事だから途中で嚙み合をして笑はれない如にするが肝要だよ

平民文庫

▲六月八日平民文庫記載の知人より明治町三樂や記事云々は何方より聞しや誤りたる報道する勿れ小生が度々意見を加へるも受附けざる人非人女の實聞きたくば(本町三辻へ)▲今日の新聞に明治町三丁目某料屋否々のハガキ便があるがあれは余り事實と異相を誤りて居るから知らせてやる元來誰とて二人も子供のある其妻を容易に出されるのでない夫れに出したのは近頃內地から藥屋主人の父が來て居れるが極くれどなしい靜かな人であるにも拘らず嫁さんは大變五月蠅がつたものだ夫れで藥屋の主人はたゝき出したのであ其後元の樣にしてもらいたい素振がれは中々あつたけれども近所合壁此の事實を知りて居るものだから誰とて藥では子供もあるから氣の毒とは云つてれれども仲に入りて取持つ人もないのであるを面も自分がたゝき出されたので自分の惡るさを棚に上げ人の事を惡く云つたのである(近所雜代)▲ひく子さんへ申す御稿投寄せられよ(係)▲奬忠壇は實に散步に持つて來いの處なり候

每日でも行きたけれど新町を通るが何んだか嫌なり希くは大和町官舍の裏より奬忠壇へ通ずる一道を開いて立派な公園にしたいものだ(散步好)▲水浪生により林子は理想の良人を得余はその日記により或る深い教訓を得た(鄕激生)▲私の隣家に本年六ッになる男の兒さんがある惡戯が劇しいので衣類は申すに及ばす手も足も一時間も滿足では居ない就中其の足の甲の如きヘンキを塗つた如になる、昨日の事知人の妻君が見へて『マア奇麗な足ですね』と云はれたのを聞いた先生欣然として母に向い『お母さんは汚ない汚ないつて云ふけど叔母さんは奇麗だつて云つたよ、お母さんの嘘吐き』と奇麗なものにして威張り散らして家人を困らせて居る(愉快生)▲仁川分監の住吉部長さん昨日のあなたの御出勤は頗る振つたものでした御服制帽に而かも帯劍と云ふ裝立て靴は穿かずに下駄穿でれく面もなく宮町交番所前の大道を通りて出勤されたるのは實に滑稽でしたあなたでなくしては左樣の藝當は他に出來ません然しあれでも部下の監督が出來ますか(實見生)

●繪畫の心得ある記者入用
希望の方は履歷書携帶至急來談あれ
京城新報社

●諸公債諸株券 現物賣買

迅速確實に御取扱可申候 兼業

京城本町三丁目 大阪野村商店代理店 田中友吉商店 電話九九三 電略(タ)

完全なる健康法は

善良なる滋養を得るにあり

蜂印香竄葡萄酒

は佛國葡萄酒の精粹なれば醇良にして佳味日常の滋養劑として

最良好適

たる事を實地に保證せらる速に飲用あれ

發賣元 東京 近藤利兵衛



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 振替口座京城十六番 電話一〇六八番九四〇番

きく熱もあり、マラリヤ熱風邪つの良劑

商標

キナエン丸

一包入五錢 五包入十錢 十一包入廿錢 十六包入卅錢 廿八包入五十錢

本舖 大阪四ツ橋西南詰南 本林丁子堂（ムキナエン丸は全國到る處の藥店に取次有御求の節は丁子の商標に御注意を乞ふ）

代理店 京城南大門通三丁目電話九〇四番一〇六番振替口座京城十六番 新井藥房

齒科治療

本町六丁目（散そば横町）

ドクトル 中村安子

女子見習募集委細面談 （電話一五八三）

今夏の候益々御淸福奉大賀候陳は小生儀昨冬以來業務の革新に着手仕候結果日韓貿易株式會社を解散し京城本町二丁目文林堂を閉店本町四丁目本店に合併仕り新に龍山停車場前に支店を開設し仁川本店を支店に改むる等其都度廣告仕候へ共種々錯雜罷在候間左に列記仕候不相變御引立奉希望候

從て本店使用電話一六九四番を他に讓渡仕候間以後御用ひ之無樣願上候

店主 町田文次郎

●本店營業品目

雜貨文具賣入 **商**

書籍新聞雜誌

總督府特許度量衡器 移入販賣

測量製圖器

京城本町四丁目 町田本店 電話一二〇七番 二〇九五番 振替口座四五番

仁川港本町二丁目 町田支店 電話四九番 振替口座三五番

龍山停車場前 町田支店 電話五二番 振替口座九七一番

歐米雜貨商

夏物荷揃

京城本町三丁目 町田支店 電話一二六番 振替口座九九番

清酒 醸造元 正宗 政宗 正則

上酒

小賣壹升に付三十錢

卸賣は特別割引可仕候

清酒 味淋燒酎 釀造元 並に日用食料品雜貨類

京城本町三丁目 中井酒造場販賣部 電話百七十七番

電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

特約品

米國スタンダード製 松印石油

下總國野田 亀印醬油

仁川日本醬油會社 亀印醬油

下總國萬上印味淋壜詰

尾張國名古屋 印酢

●浦根炭及日本木炭

英米煙草會社製品各種

神戸布引礦泉所製馬蹄印

豐後湯の花精製品（入浴用）

兵庫縣灘魚崎銘酒櫻正宗

其他和洋酒、米、麥、石炭、みりん、洋臘、瓦、煉瓦、明太魚、鯡見布、藥鑵莚、味噌、鑵詰、干香、其他乾物類一式

京城本町六丁目 雜貨部 今藤富國太郎本店 （電話三〇八番） （電略ク）

京城南大門市場 貿易部 藤富國出張所

京城永樂町二丁目 木炭部 藤富國出張所

專賣局販賣品

特約販賣店

土耳古 巻煙紙 金口

SKS エスケーエス

京城 北屋 平壤 昌洋行 鎭南浦 龍山 吉田 宇津木 木浦 沖永 馬山 西川 公州 中芝

光鳳

名譽 帝國 商標

醸造元 仁川宮町三丁目 深見勝三郎

電話二四八番 電信略號フ

蚊帳の必要正に急なり

最新式縫目なし薬分蚊帳菊水枕蚊帳を初めとして關戸蚊帳株式會社特製品全部ピンデ入らず旅行便利かやに至る迄色々取揃へ蚊帳なら唐川へと御評判を益々發揮致し充分勉強致します

今回は特に六月五日より六月二十日迄現金に限り正札より五歩引と致します

殊に地方よりの御注文は御安心被成下樣最も迅速に御發送致します

京城明治町一丁目 （電話二六一番）

△ 唐川吳服店蚊帳部

神戸海上運送火災保險株式會社

資本金五百萬圓

出張所 京城明治町一丁目 （電話一五四九）

鐵冷溫泉

溫泉湯

きゝめのある

此の溫泉は左の如き病に最も妙なり

一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひふ病、梅毒、りん病、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、ぜんそく、腸胃加答兒、肺病、ひんけつ症、きりきず、其他内用には鐵冷溫泉を併用すれば尤も効能あり

旅館 貸席 浴客

長谷川町一丁目韓銀建築所北横手（電話一四一一番）

世界一のかぜ藥

ねつ・はやりかぜ・づつう りうまちすに大効あり

商標 印蛇

アンチピリン丸

全國藥店にあり

定價 五錢・十錢・十五錢・廿五錢

發賣本舖 東京 丹平商會

代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番 一〇六八番 振替口座京城十六番

夏期好飲料

水道引用 天然氷

飲用適當 室内裝飾並に冷室 營業方法 製造並に賣捌所

當所製氷は水道良水を使用するを以て飲用として危險なく且つ長時間の保存に堪申候

所謂花氷にして草花を滿開の儘透明なる氷裡に凝結せしものにして艶麗なる美觀さ一見三伏の暑を忘るゝの點は夏期宴會席上缺く可らざるものに候

電話にて御下命の節は早速配達仕候花氷は二三日以前御申込相願度御一報の節は直に參堂可成御便利相圖申候

賣捌希望の方は御來談相成度候

西大門外アストルハオス横

京城製氷所

電話架設中に付取次 千三百八十二番

旅館

京城南山町三丁目

京城ホテル

電話長一二三番 四九二番

日本室和食

特等（三圓五十錢）

一等（二圓五十錢）

二等（二圓）

三等（一圓五十錢）

夜間診察は九時迄

入院隨意

六〇六號注射の需に應ず

仁川病院

電話一六番

夏帽子荷揃

パナマ、麥稈、學生用夏帽子

京城本町五丁目 丸二帽子店

牛馬 犬猫 治療所

入院隨意

京城明治町三丁目 小川家畜醫院 院長 小川龜太郎 （電話四二七番）

京城本町二丁目百三十銀行横

野田齒科專門醫院

電話一〇四七番

純良消毒牛乳

京城南山町 岡野牧場 電話千六十九番

瓦斯コークス販賣

京城黄金町高等演藝館前

酒井組

電話一二四九番

尾州半田 清酒

特約販賣 仁川 京城 高雄 支店

中埜本家 醇

芙江 公州 間 定期出帆廣告

芙江發毎日午後一時四十分公州着後六時 公州發毎日午前七時芙江着後四時半 韓内御客樣の娯樂用として新聞雜誌碁將棋等の備付あり

京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ

六月中 滊船出帆廣告

海州行 日、十二日、十六日、

安來丸 廿日、廿四日

海州丸 二日、十日、十四日、十八日、廿日、廿六日、三十日

瀛洋 富里浦屯串行

三省丸 十七日、十九日、廿一日、廿四日 日、九日、十二日、十四日

三吉里 海倉 舊島行

成歡丸 日、九日、十七日、廿二日

仁川本町四丁目

合資會社 秋田商會船舶部 電話一七三番 七五〇番